暴力街（1974）

メディア 映画
ジャンル 任侠・ヤクザ
製作国 日本
色彩 Color
時間 96分
初公開日 1974/04/13

【解説】
五社英雄が自らの原案を監督し映画化。掛札昌裕と中島信昭が脚色を、佐藤勝が音楽をそれぞれ担当した。
かつて東菊会の下で江川組の組長を務めた江川は、今は足を洗い銀座のクラブを経営していた。関西の西日本連合が東京進出のための足がかりとして江川のクラブに目をつけ、さらに東菊会もクラブを買収しようとする。腹を立てた江川の配下の望月は仲間とともに、西日本連合の仕業と見せかけて新人アイドル天野マリを誘拐、彼女を殺害し身代金を手に入れた。東菊会は望月たちが事件の犯人だと知り、殺し屋を雇って彼らを皆殺しにする。足を洗ったため事態を静観していた江川だったが、かつての組員から手製の銃を入手し、決着をつける決意をするのだった。

【クレジット】
監督 五社英雄
企画 吉田達
原案 五社英雄
脚本 掛札昌裕
中島信昭
撮影 山沢義一
美術 中村修一郎
編集 祖田冨美夫
音楽 佐藤勝
助監督 福島通夫
出演 安藤昇
小林旭
丹波哲郎 Tetsuro Tamba
菅原文太
夏八木勲
赤座美代子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.